



北斗句会

十一月定例会(四日) メール句会

兼題 「虫」「栗」

五十音順

特は特選 石田きよし選

毬栗のつくねんとしてけふも雨

大崎石州

鈴虫のソプラノ響く峽の宿

太田黒幸風

特 一村の白昼締まる鉦叩

大森康政

夜の厨隅に陣どるちちろかな

竹内雲泉

秋の夜や朝刊ひらき爪を切る

田中資凡

特 声明や紅葉降りしく平林寺

長池豆陽

満天に届けとばかり虫すだく

深見十万

特 蔦もみじ地層の秘める太古かな

藤田紀潮

行く秋や思ひ思ひの羊雲

宮下ひかる

特 宿坊の闇を深めて鉦叩

森田光彦

常連の減りゆく集ひ秋しぐれ

山縣秀雄

趣味高じ飼育始める虫鳴けり

吉岡誠山



夕映えを叩き釣り上ぐ紅葉鮒

石田きよし